

## 図で見る工事の現況(「トンネル年報2007」より抜粋)

2006年(H18)12月1日現在施工中のトンネル現況

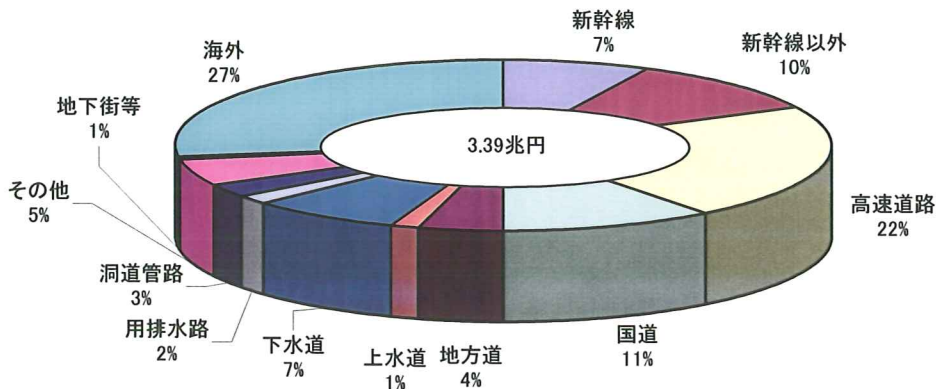


図-10 請負額の比率(2006.12.1現在施工中)

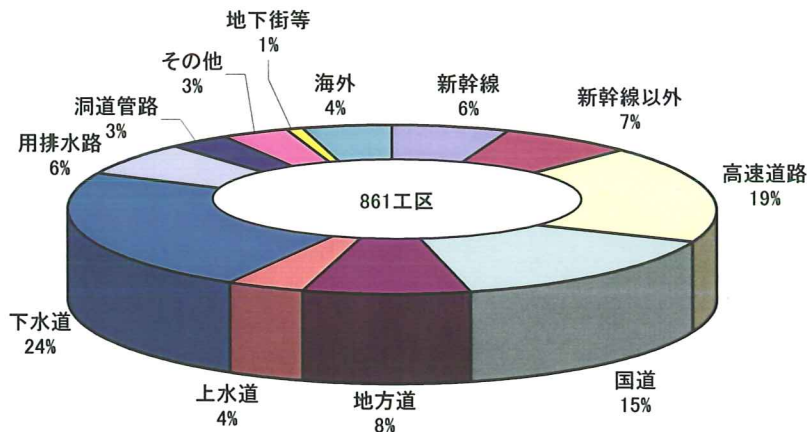


図-11 工区数の比率 (2006.12.1現在施工中)

以下 国内工事—ただし、地下街・地下駐車場等工事を除く

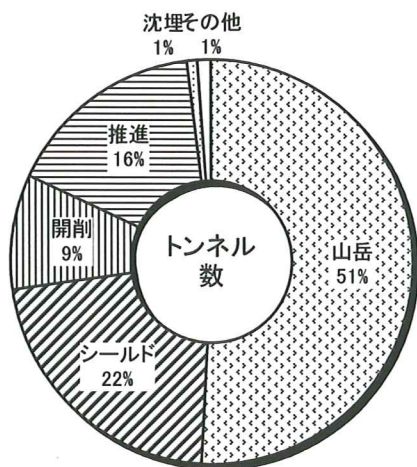


図-12 施工法別トンネル数の比率

※トンネル数とは  
この集計でいうトンネル数とは、1工区内にあるトンネルの数をできるだけ抽出した数を示す。以下同じ。  
(工区数<トンネル数)

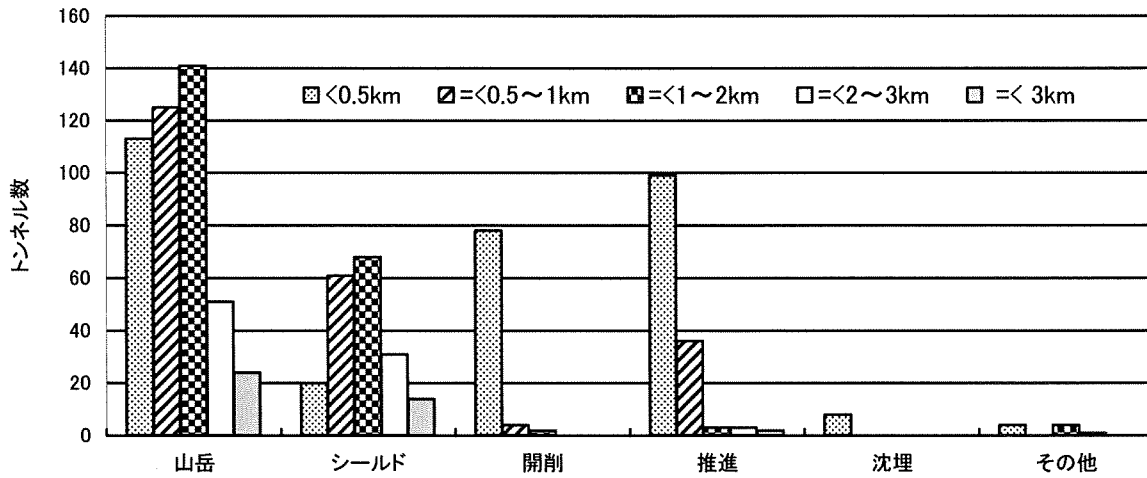


図-13 施工法と契約延長

※当協会加入団体会員より提出された2006年12月1日現在施工中のデータより

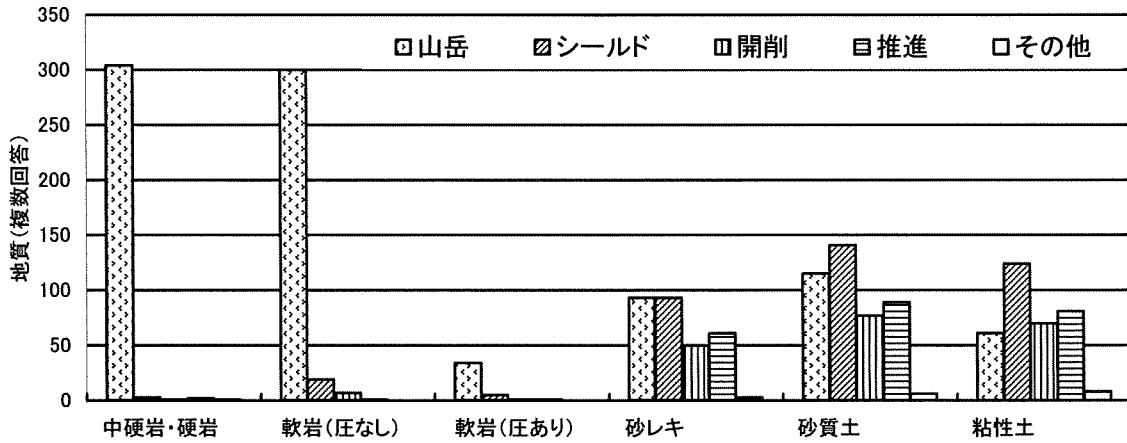


図-14 掘削工法と対象とする地質(複数回答)

※当協会加入団体会員より提出された2006年12月1日現在施工中のデータより

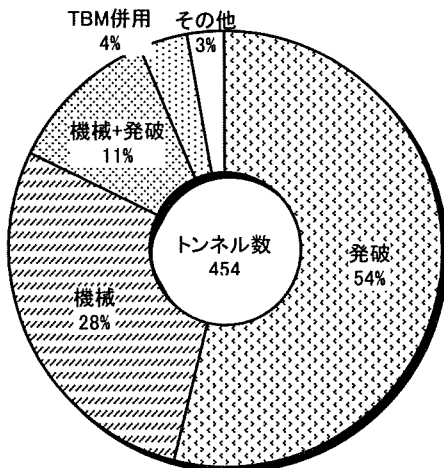


図-15 山岳工法の掘削方式比率

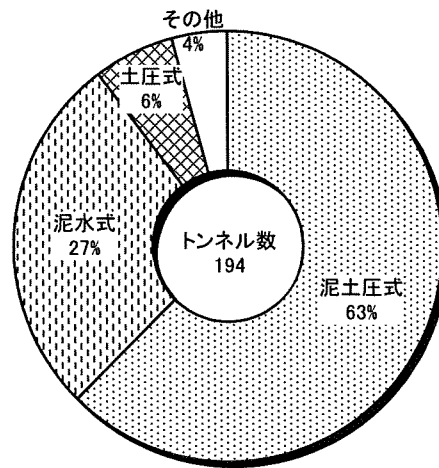


図-16 シールド工法の形式比率

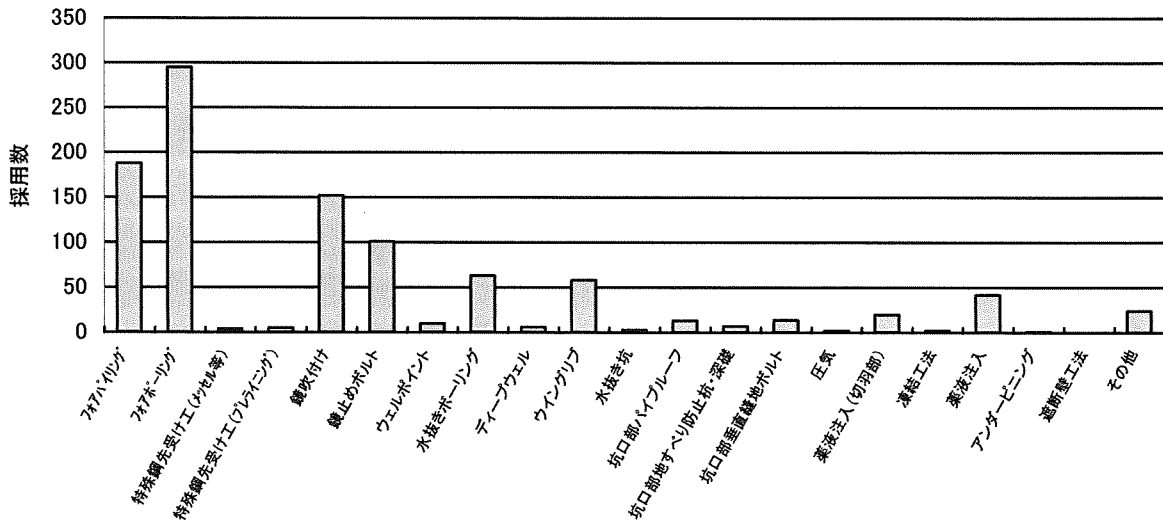


図-17 山岳工法における補助工法採用状況(複数回答)  
 ※当協会加入団体会員より提出された2006年12月1日現在施工中のデータより

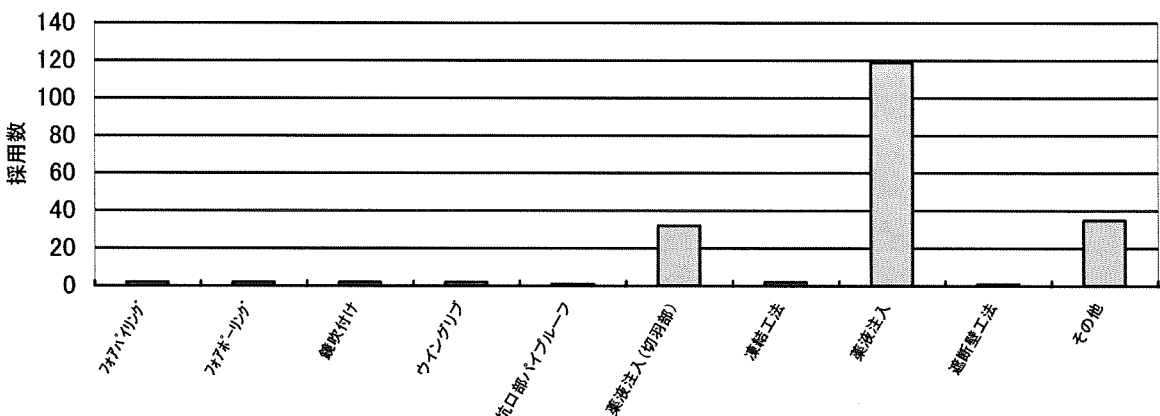


図-18 シールド工法における補助工法採用状況(複数回答)  
 ※当協会加入団体会員より提出された2006年12月1日現在施工中のデータより

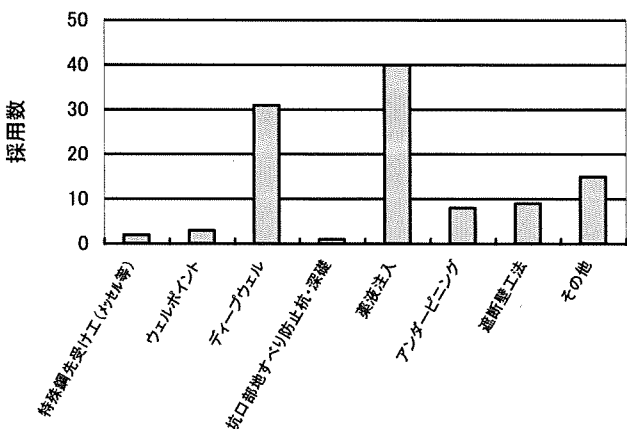


図-19 開削工法における補助工法採用状況 (複数回答)  
 ※当協会加入団体会員より提出された2006年12月1日現在施工中のデータより

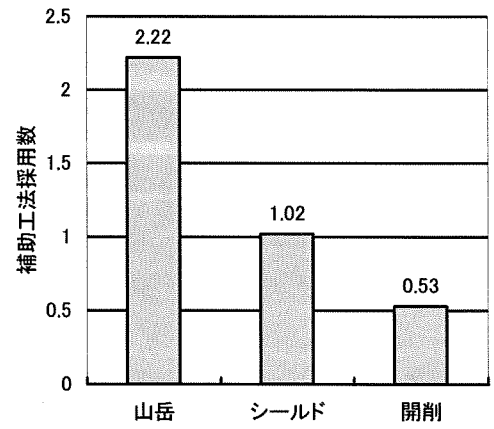


図-20 施工法と補助工法の採用数  
 ※当協会加入団体会員より提出された採用数=主な補助工法の数/トンネル数